未来予想図（みらいよそうず）

寝屋川市立梅が丘小学校　　２０２４・１・９

校長室通信　　No. ３６

「画竜点睛（がりょうてんせい）」という言葉・・・「知っていますか？

２０２４年（令和６年）という新しい年が始まりました。みんなも心新たに、新年の希望を胸にしていることでしょう。

２０２３年（令和６年）を振り返ると、いろいろな思いがあることだと思います。「あの時、もっとこうしておけば良かった。」「あそこで頑張ったから、いい結果が出たんだ。」など、人によって、それぞれ思いは違うでしょう。しかし、大切なのはこれからです。

「今」という、この時期は、２０２４年のスタートであると同時に、各学年のまとめの時期にもなります。

この一年間のしめくくりという意味でも、まさに、「今」は、非常に大切な時期であると言えるのです。

「画竜点睛（がりょうてんせい）」という言葉があります。

この言葉は、中国の昔のお話からできたと言葉だと言われています。そのお話とは・・・。

中国のある画家が、お寺の壁に竜を描いたのですが、竜には、ひとみ（＝ 睛）が描かれていませんでした。

人々がそのわけを聞くと、その画家は、「ひとみを入れると、竜が空に飛んでいってしまう。」と答えたそうです。

しかし、人々は信用しません。そこで、その画家が竜にひとみを描いてみせたところ、竜は本当に空に飛んでいってしまったという古い話からきています。

いよいよ３学期に入り、今年度も、もう残すところあとわずかですね。

みんなも、もうすでに、それぞれの絵が完成しかけていることでしょう。あとは、最後の部分を描き加えるのみです。さあ、もうひとがんばり！

２０２４年が、みんなにとって良い年になりますように・・・！！

言葉というものは宇宙に飛んでいき いつの日か 自分のところへ帰ってくる・・・

２学期の終業式の日に話した内容ですが・・・。

以前、日曜日に、お昼ご飯をたべるため、校長先生は久しぶりに、マクドナルドへ行きました。注文したのは、ハンバーガー、フィレオフィッシュ、マックシェイクのバニラでした。

食べた後、おぼんを返すところに店員さんがおられたので、何気なく「ありがとうございました。忙しそうで、たいへんですね。」と言うと、その店員さんは、にっこり笑って、「私たちは、お客様の『ありがとうございます』の一言で、元気になれるんです。」と笑顔で答えていただきました。

ある本を読んでいると、こんなことが書かれていました。

言葉というものは、人間の口から出ていくと、宇宙に飛んで行く。そして、いつの日か、自分のところへ帰ってくる。しかも、時間がたった分、大きく成長し、さらに、その言葉の友だちまで連れて帰ってくる。

自分が口にした言葉がきれいな言葉の場合は、もっときれいな言葉になって、そしてきれいな言葉の友だちまで連れて帰ってくるので、その人をすごく幸せにしてくれる。

反対に、自分の口にした言葉がきたない言葉の場合は、もっときたない言葉になり、そしてきたない言葉の友だちまで連れて帰ってくるので、その人を、すごく傷つけてしまう。

そんな内容でした。

梅が丘小学校のみんなも、例えば、おうちの人や友だちに親切にしてもらったとき、自然に、「ありがとう」と言うと、いつの日か、自分のところに、もっときれいな言葉として帰ってきます。そのきれいな言葉の友達も連れて帰ってきてくれるので、とても幸せな気分になることができます。

反対に、きたない言葉や人の悪口を言うと、もっときたない言葉や自分への悪口になって帰ってくるので、心がすごく傷ついてしまいます。

親切にしてもらった時には、「ありがとう」。失敗した時には、「ごめんなさい」。困っている人を見かけた時には、「大丈夫？」・・・。こういった言葉は、簡単な言葉のように思えますが、とてもすばらしい言葉なのだと思います。

梅が丘小学校のみんなが、きれいな言葉、優しい言葉をいっぱい使って、すてきな人、優しい人になってくれることを、心から願っています。